



# Aigo ~ 愛護 ~

サクラ

~ 第7号 ~ 3月30日 ~

愛護会...今昔...

羽衣公園愛護会 今昔

平塚市公園愛護会連絡協議会

理事 藤田 早苗

平成10年「かながわ ゆめ国体」が開催されました。

その国体開催準備がすでに10年前より始まっていました。

そんな時期、子ども会が発足当時より携わってきた「桃浜子ども会公園愛護会」の団体名を「羽衣公園愛護会」と改名しました。

改名は諸々の発想からの選択でした。

時代の流れなのでしょうね

子どもたちの減少傾向にある子ども会の清掃活動の軽減を図る事も含め、自治会と子ども会とが共同で進めていったらどうだろうか。

来る神奈川県体が開催される折には、桃浜テニースタートに来られる県内は勿論、全国の選手の皆様・応援の皆様方を通りすがりの公園ではありません

がきれいな公園でお迎えをさせていただけようと思う気持ちもありました。

愛護会の実践団体が自治会に委ねられはしましたが子ども会にとつて公園清掃活動は欠かす事はできません。子ども会活動の基本は、「体育面」・「文化面」・「奉仕面」の内容を組み込んだプログラムが希ましいのです。ともすると遊び中心になりがちの中で公園清掃は身近な奉仕活動の場所であり、自分達がお掃除をする事により、「みは捨てない」「きれいに使う」等、大切な習慣を知らず知らずの内に身に付ける事ができるからです。

以前、鎌倉の会に出席した時、「軒下みどり」と発言された女史は、「緑を増やすことは大切な事です。でも、「軒下みどり」とどまらず広視野に立つて考えます。大鷲の巣が話題になりますが大鷲に限らず鳥類は天空を自由に飛び交い緑があつても

軒下には停まってはくれませんが自然との共存は、住んでいる地形は何山系に属するかそして、その動植物をも考慮すべきです」と、自然界に対する思いと情熱を語る女史に圧倒されました。自然開発阻止と保護の話題の中に「地球温暖化」は当時ありませんでした。しかし、今や地球温暖





「化」は大きな社会問題です。「軒下みどり」も出番です。地球温暖化防止の一策として大歓迎です。

緑と云えば、自主的に「花壇の手入れ」をして下さり草花を愛でる優しい人達が羽衣公園に多いです。

日常の水遣り・夏の早朝、夕方の水遣り、季節毎の草花の植替え等、蔭で快く奉仕して下さる皆様方。

また、社会生活に慣れる手段として一生懸命にお掃除をして下さる作業所（ワークショップ）の皆様方。地域の方々からそれは感謝されております。老若男女共



々、公園と云う空間から「和」を広げていくようです。

遠い過去のこと。公園清掃の時、フモらした子どもの夢のぶやきが今もここに残っている気がします。

春は「近所さんと桜の花見  
冬は「近所さんと第九の  
合唱  
叶わぬ夢でも、夢がある公園。。。

桜づくしの春...

(財)かながわトラストみどり財団湘南地区推進協議会主催平成 18 年度ふれあい緑化事業の助成により鬱金(ウコン)桜を市内 4 公園に愛護会の方々の御協力により植樹いたしました。



龍城ヶ丘公園



港公園



三島公園



めぐみが丘公園

鬱金(ウコン)桜について:

バラ科サクラ属 東京の荒川堤で栽培されていた品種です。花が淡黄色で珍しいことから、全国で栽培されており、欧米でも好まれている品種です。花の色が鬱金色(染物)から鬱金と呼ばれています。

咲くとこんな感じです。





市内新町にお住まいのHさんより、熊谷(クマガイ)桜をめぐみが丘公園にお譲りいただき、移植いたしました。早咲きの桜なので今春の咲き具合を心配していましたが、移植後一ヶ月程で見事に満開。

### めぐみが丘公園



### 熊谷(クマガイ)桜について:

バラ科サクラ属 熊谷桜はヒガンザクラに次いで早く咲きます。コヒガンザクラの八重咲き品種で、全体に小さく、花は淡紅色。別名ヤエザキヤマヒガンと呼ばれ、全国でも珍しい品種です。花弁は25~30個ありかわいらしい花です



ツバキ

私の公園自慢

### モアステージ公園愛護会

籠城ヶ丘青松緑地を活動場所とされているモアステージ公園愛護会の御紹介です。こちらは旧柿澤邸跡地の一部に提供公園として平成6年に誕生しました。往時の和風庭園としての雰囲気を活かしつつ、ここ数年でドラマティックに植栽等が充実してきましたのは、何と言っても平成16年に公園愛護会が結成され、会長をはじめとするマンションの管理組合の役員の方々の適切なリーダーシップと、お花好きの住民有志の方々の日々のお手入れの賜物と言えます。

愛護会結成のきっかけは、隣接するマンションの大規模修繕工事に伴い、植栽されたヒラキモクセイ等の常緑中低木の夏場の週2回の水遣りのお当番でした。この事をきっかけにマンション住民の公園に対する関心も高まり、愛護会結成へとつながりました。夏場の除草や水遣りでの蚊には悩まされますが、季節の花を落ち着いて楽しむ事が出来る、他にはない趣(おもむき)の公園となっています。

園内はサクラやアジサイ、ツバキ、かき等充実した花木に恵まれています。平成17年には西洋シャクナゲも植えました。現在は、旧邸の既存樹木や庭園石を残しつつ花壇等も徐々に広げています。近所には素敵な花屋さ



現存する旧家の門に入って右手にはシャクナゲ「太陽」が、

の役員の方々の適切なリーダーシップと、お花好きの住民有志 (平成18年春撮影)

んが多く、植栽管理についてのアドバイスをもらいながら、季節の花を植えています。



会長さんは、お仕事で日本はもとより世界を飛び回った経験からその土地土地の良さを暮らし方に色々採り入れてこられた方ですが、今はこの地に落ち着かれました。元々平塚に住んでいるとつい「茅ヶ崎と大磯の間」という表現で卑下してしまいがちですが、広々とした駅前、充実した道路行政、全国的にもトップレベルの家庭ごみの分別等、湘南地域の中でも平塚が秀でている点はたくさんあると、平塚の大ファンの御様子。「特に南側はお花屋さん、お菓子屋さん(和洋菓子店)が多い。これは心に余裕のある証拠。」とおっしゃいます。

龍城ヶ丘青松緑地は、子ども達には「おばけやしき」のニックネームで呼ばれているとか。旧邸の名残の御門の表札には、誰が書いたのかうっすらと「おばけやしき」のいたずら書きが。それも御愛嬌の皆の憩いの場となっています。



## Q & A こんな時どうしたらいいのですか ~公園のお世話をされていて分からないこと~

レンゲ

Q：公園を歩いていたらカラスがひどく威嚇してくる。どうしたらいいの？

A：例年5月から7月にかけて、カラスの威嚇等による被害が最も多く見られます。これは、親ガラスが卵や雛を守るために、巣や巣立ち直後で地上に降りている子ガラスの近くを通行する人などを威嚇したり、攻撃したりするようになるからです。カラスの威嚇・攻撃被害にあった場合は、まず近くに巣や巣立ち直後の子ガラスがないか確認し、できる限り近づかない様にしてください。市の管理する土地で被害が出た場合は、管理する各担当が対応します。市の公園で被害が出た場合は、みどり公園課までその旨を御連絡ください。立て看板の設置や迂回路の指定等によって被害の回避を図ります。これらの方法だけでは被害が軽減されない場合は、巣を撤去する、あるいは子ガラスを捕獲することで被害の防止を図りますが、「鳥獣の保護及び狩猟の適正化に関する法律」により、許可なくカラス(卵・雛を含む)を捕獲することはできません。公園を利用される方は、巣周辺を通らないようにしていただき、帽子をかぶる、傘をさすなどの被害対策も合わせてお願いいたします。





みなさんでこの会報に色をつけてください

公園愛護会に所属の会員の方々の力をお借りして、内容をより充実したものにしていきたいと思っています。

公園や緑、花が大好きな方

会報を作ってみたい方

まちづくりに興味のある方

誌面づくりに参加いただける方を随時募集しています。

(メールやお便りによるお手伝いも大歓迎です。)

問合せ先

平塚市役所みどり公園課

電話:0463-23-1111 内線 2176・2515

メール:midori@city.hiratsuka.kanagawa.jp

*Aigo* ~ 愛護 ~ 次号は6月発刊です！

この会報は、会員皆様の各公園を「私の公園自慢」のコーナーで紹介しています。日頃の清掃や花壇の手入等、写真や記事を募集しています。次号に掲載するには19年5月14日が切です。